



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社 遠藤照明 上場取引所 大  
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)遠藤 良三  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営品質本部長 (氏名)佐川 武志 (TEL)06-6267-7095  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,117	34.1	2,613	65.3	2,224	85.7	588	—
23年3月期第3四半期	13,506	44.7	1,581	—	1,197	—	△335	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 463百万円( —%) 23年3月期第3四半期 △427百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	46.66	—
23年3月期第3四半期	△26.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	31,190	7,241	23.2
23年3月期	22,691	7,062	31.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,235百万円 23年3月期 7,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
24年3月期	—	12.50	—		
24年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	32.3	3,500	52.1	3,000	62.8	1,100	141.3	87.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	13,462,068株	23年3月期	13,462,068株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	843,450株	23年3月期	843,450株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	12,618,618株	23年3月期3Q	12,618,694株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産の落ち込み、米国の景気停滞、欧州の金融不安等により一層の景気減退の懸念が深まっております。

このような状況の下で、当社グループは高付加価値空間創造企業として、省エネルギーと環境を重視した高効率LED照明器具や省エネ機器の新製品開発並びに製造販売に経営資本を集中させて取り組んで参りました。東日本大震災の影響により4、5月度は売上高が予算に達しませんでした。その後の省エネ指向が高まるに従いLED照明への需要が増加し順調に売上を伸ばすことが出来ました。

また、健全な企業体質を構築するために内部統制システムの充実と確立に向け内部統制委員会を中心に体制の整備を進めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は181億17百万円（前年同四半期比34.1%の増収）となりました。売上高の増加に伴い、当第3四半期連結累計期間における経常利益は22億24百万円（前年同四半期比85.7%の増益）となりました。一方、将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価損8億52百万円を特別損失に計上いたしましたものの、四半期純利益は5億88百万円（前年同四半期は3億35百万円の四半期純損失）となりました。

10月初めよりタイ中部を中心に発生した洪水被害につきましても直接的な影響はなく、通常どおりの生産体制で業務を継続しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①照明器具関連事業

業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えと性能を実現し、東京、大阪、福岡、名古屋、仙台、札幌の6大都市に設置したLED照明器具専門のショールームを中心に展示会を開催し積極的に拡販いたしました。

その結果、従来の商業施設用照明器具メーカーから、業務用LED照明器具分野のトップメーカーとしてのブランドが定着し、特に大手設計事務所、スーパーゼネコン、サブコン等に評価され、百貨店やオフィス等の大型施設向けの販売が順調に推移いたしました。

これにより、LED照明器具の売上高は121億円（当事業の約70%）となり、当社の中核製品に成長し売上高の増加に大きく貢献いたしました。

海外子会社であるENDO Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd.及び昆山恩都照明有限公司（中国）は、LED照明器具の主力製造工場としての体制が整い、高品質でローコストな製品の安定供給を実現し、当社グループの売上並びに利益の拡大に寄与いたしました。

この結果、売上高は176億44百万円（前年同四半期比39.3%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は35億33百万円（前年同四半期比59.0%の増益）となりました。

なお、平成23年9月9日に米国のIcon International, Inc.の全株式を取得し、連結子会社といたしました。

## ②環境関連事業

省エネ照明器具や制御機器のレンタル並びに販売が主体の子会社イーシームズ株式会社は、食品スーパーを始め、流通店舗等の省エネ照明器具や制御機器による消費電力の削減効果が高い評価を得て、順調に契約件数を伸ばしました。

この結果、売上高は15億12百万円（前年同四半期比86.5%の増収）、セグメント利益は2億82百万円（前年同四半期比187.8%の増益）となりました。

## ③インテリア家具事業

業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、東京、大阪本社ショールーム等を活用して積極的に販促活動に取り組む一方、家具流通における代理店の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランドの浸透と販路開拓を進めて参りました。

しかしながら、景気減速懸念に加え東日本大震災の影響により当第3四半期連結累計期間では減収となりましたが、コストダウン・物流効率化を推し進め採算性の向上を図っております。

この結果、売上高は3億90百万円（前年同四半期比12.0%の減収）、セグメント損失は1億10百万円（前年同四半期は81百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産は311億90百万円（前連結会計年度末比84億99百万円の増加）となりました。

主な要因は、現金及び預金の増加11億48百万円、売上債権の増加4億79百万円、棚卸資産の増加30億82百万円、東京地区集約化のための事業所用ビル投資16億34百万円、Icon International, Inc.の全株式を取得し連結子会社としたことによるのれん8億15百万円によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間における負債は239億48百万円（前連結会計年度末比83億19百万円の増加）となりました。

主な要因は、仕入債務の増加4億62百万円、借入金の増加58億77百万円、デリバティブ債務の増加7億43百万円によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は72億41百万円（前連結会計年度末比1億79百万円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上5億88百万円及び剰余金の配当2億83百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月11日の第2四半期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,654	2,803
受取手形及び売掛金	5,087	5,566
商品及び製品	3,418	4,919
仕掛品	402	811
原材料及び貯蔵品	2,326	3,499
繰延税金資産	372	668
その他	786	1,273
流動資産合計	14,048	19,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,957	4,141
減価償却累計額	△2,086	△2,154
建物及び構築物(純額)	1,870	1,987
機械装置及び運搬具	1,272	1,542
減価償却累計額	△969	△1,057
機械装置及び運搬具(純額)	302	484
土地	3,144	3,126
建設仮勘定	409	1,828
その他	2,504	3,291
減価償却累計額	△1,595	△1,950
その他(純額)	909	1,340
有形固定資産合計	6,635	8,767
無形固定資産		
ソフトウェア	95	592
のれん	—	815
その他	684	73
無形固定資産合計	779	1,481
投資その他の資産		
投資有価証券	198	185
繰延税金資産	581	758
その他	732	743
貸倒引当金	△284	△287
投資その他の資産合計	1,228	1,398
固定資産合計	8,643	11,648
資産合計	22,691	31,190

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,307	3,770
短期借入金	4,181	7,694
1年内返済予定の長期借入金	737	1,191
未払法人税等	418	929
賞与引当金	224	242
製品保証引当金	180	282
事務所移転費用引当金	—	131
デリバティブ債務	117	192
その他	1,116	1,381
流動負債合計	10,283	15,816
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	1,396	3,308
退職給付引当金	426	445
役員退職慰労引当金	362	375
修繕引当金	10	10
デリバティブ債務	2,723	3,392
その他	126	300
固定負債合計	5,345	8,132
負債合計	15,629	23,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,529	3,529
資本剰余金	2,176	2,176
利益剰余金	1,689	1,994
自己株式	△249	△249
株主資本合計	7,145	7,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△10
為替換算調整勘定	△94	△204
その他の包括利益累計額合計	△93	△214
少数株主持分	10	6
純資産合計	7,062	7,241
負債純資産合計	22,691	31,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	13,506	18,117
売上原価	7,489	9,785
売上総利益	6,017	8,331
販売費及び一般管理費	4,435	5,718
営業利益	1,581	2,613
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	9
仕入割引	5	25
受取賃貸料	16	18
その他	39	68
営業外収益合計	64	122
営業外費用		
支払利息	55	88
売上割引	126	171
為替差損	251	250
その他	14	1
営業外費用合計	448	511
経常利益	1,197	2,224
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券受贈益	4	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
事務所移転費用引当金繰入額	—	131
デリバティブ評価損	1,427	852
その他	42	37
特別損失合計	1,469	1,021
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△267	1,203
法人税、住民税及び事業税	75	1,112
法人税等調整額	△6	△494
法人税等合計	69	617
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△336	586
少数株主損失(△)	△1	△2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△335	588



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△336	586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△11
為替換算調整勘定	△94	△111
その他の包括利益合計	△91	△122
四半期包括利益	△427	463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△424	467
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△4

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	リビング事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	12,282	677	444	102	13,506	13,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	386	133	—	—	520	520
計	12,668	811	444	102	14,026	14,026
セグメント利益又は損失 (△)	2,222	98	△81	△34	2,204	2,204

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,204
セグメント間取引消去	△30
全社費用(注)	△593
四半期連結損益計算書の営業利益	1,581

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,297	1,428	390	18,117	18,117
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,347	84	—	1,431	1,431
計	17,644	1,512	390	19,548	19,548
セグメント利益又は損失 (△)	3,533	282	△110	3,705	3,705

(注) なお、前連結会計年度末をもってリビング事業から撤退しております。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,705
セグメント間取引消去	△164
全社費用（注）	△926
四半期連結損益計算書の営業利益	2,613

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。